

コオイムシの

ふ化の観察



大津小 4年4組
貴田直希

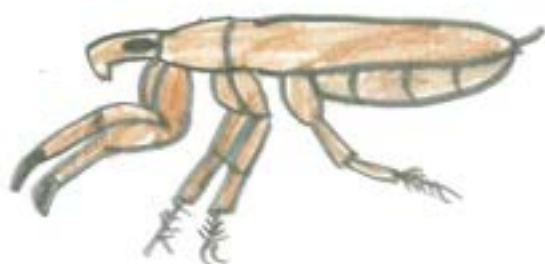
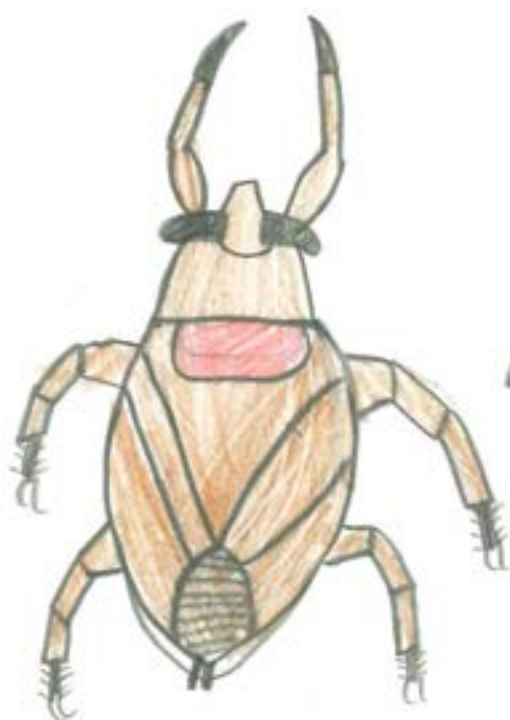
目次

- はじめに……P.1
コオイムシのとくちょうと生息環境……P.2~3
コオイムシとオオコオイムシの見わけ方……P.4
ふ化の前日の様子……P.5~6
ふ化の観察……P.7
卵からでてきた時刻……P.8
生まれた時間とムカ虫の数……P.9
1時間ごとに生まれたムカ虫の数……P.10
ふ化を観察して分かった事……P.11
卵からでてくるムカ虫の様子……P.12
ふ化したムカ虫の色のへん化……P.13
ふ化を観察して分かった事……P.14~P.15
おわりに……P.16

はじめに

なぜ、ぼくがコオイムシを観察しようと思ったのは、どうやって卵が木にくっついて
いるのか、ふしぎに思ったからです。
今回は、ふ化を中心に書きました。

コイムシのとくちょうと生息環境



側面

じついの
大き

北面

分布 北海道、本州、四国、九州

大きさ 成虫17-20mm、幼虫15mm

特ちょう 体色は茶色。メスは、オスの背中に卵を産み、卵を産みつけられたオスは、化すまで卵を守る。

場所 池沼、水田、休こう田、湿地、河川の淀み。

見られる時期 一年中。

エサ 成虫・幼虫ともに巻貝を好むが、水生昆虫やメダカなども食べる。

その他 コオイムシは「字負虫」と書く。

全国版レッドデータブックには準系色めつ
危惧種に指定されている。

P.2~P.4は、下記の本を参考にしました。

三田村敏正・平澤桂・吉井重幸著

『タガメ、ミズムシ、アメンボハンドブック』

文一総合出版

コオイムシとオオコオイムシの見分け方

コオイムシ



白印は、オオコオイムシ
より小さい

オオコオイムシ

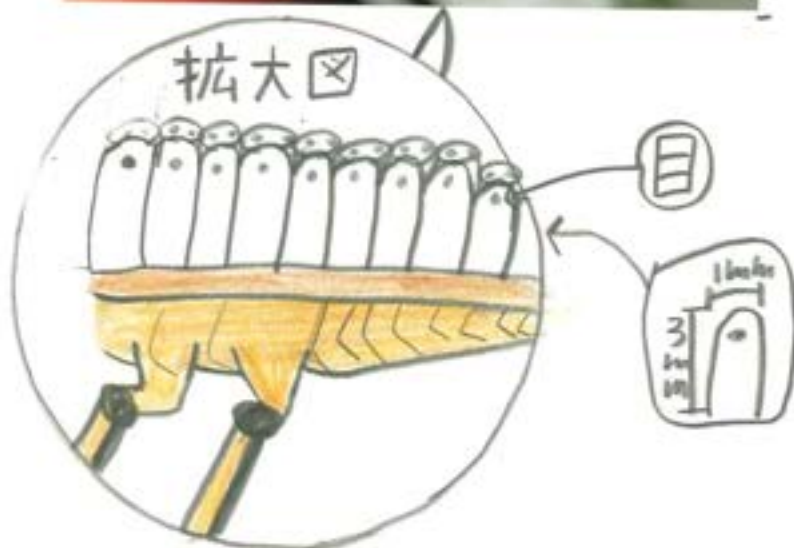


白印は、コオイムシより
大きい

ふ化の前日の様子

8月4日

卵がとう明になり、赤ちゃんの目が見えてきました。



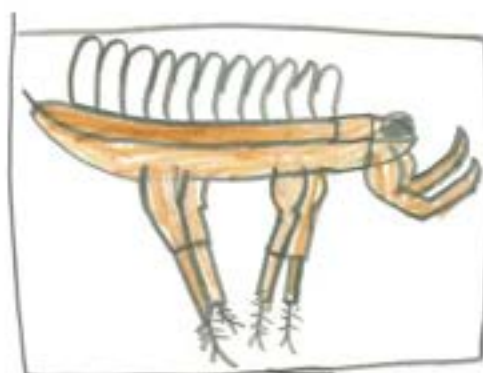
卵の中の目が見え初めるとだいたい1〜2日で生まれ初めます。

ふ化の前日の様子

水面に来て白卵に空気をすおせている。
白卵持ちのオスをさおると死んだふりをするとときもある。

白卵は、2〜30こくらい産まれる。

白卵持ちは飛ぶことができない。



人がさおると足を
のはして死んだふり
をする。

ふ化の観察

8月5日

朝おきて虫かごを見たら虫が生まれて泳いでいました。その数は、4匹でした。
これから、生まれてくるだろうと思い観察を
始めました。



白月からでてきた赤ちゃんの
様子

印月からできた時刻

8:02 すでに4ひき生まれていた。

8:14 2ひき 11:32 1ひき 3:10 1ひき

9:04 2ひき 11:47 4ひき 3:46 1ひき

9:20 1ひき 12:05 2ひき 3:52 2ひき

9:34 2ひき 12:33 1ひき 4:19 3ひき

9:39 1ひき 12:37 2ひき 8:21 1ひき

9:51 1ひき 12:56 2ひき

1:01 1ひき

9:56 2ひき 1:08 2ひき

10:13 1ひき 1:25 2ひき

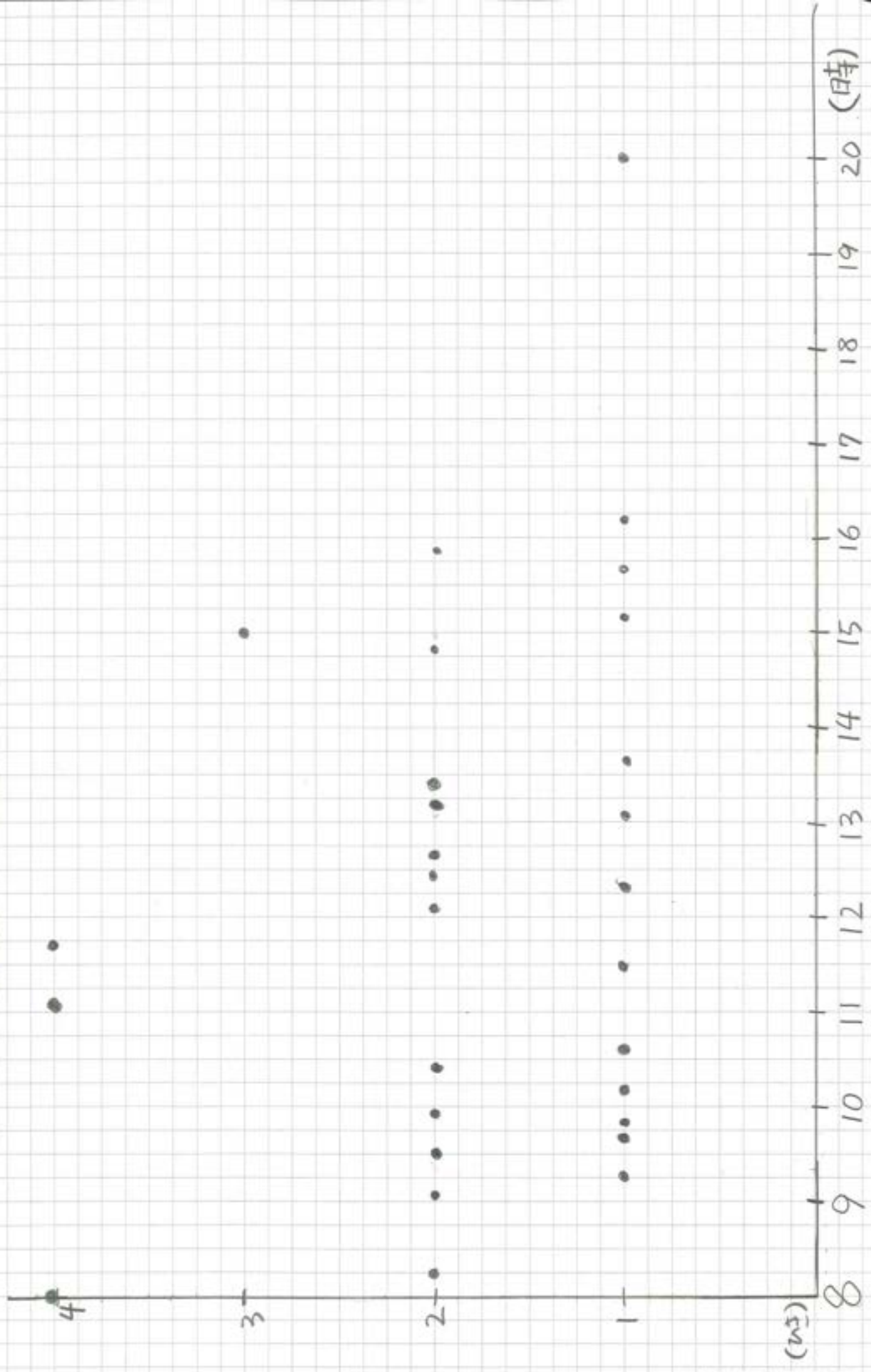
10:37 2ひき 1:37 1ひき

10:43 1ひき 2:59 2ひき

11:01 4ひき 3:00 3ひき

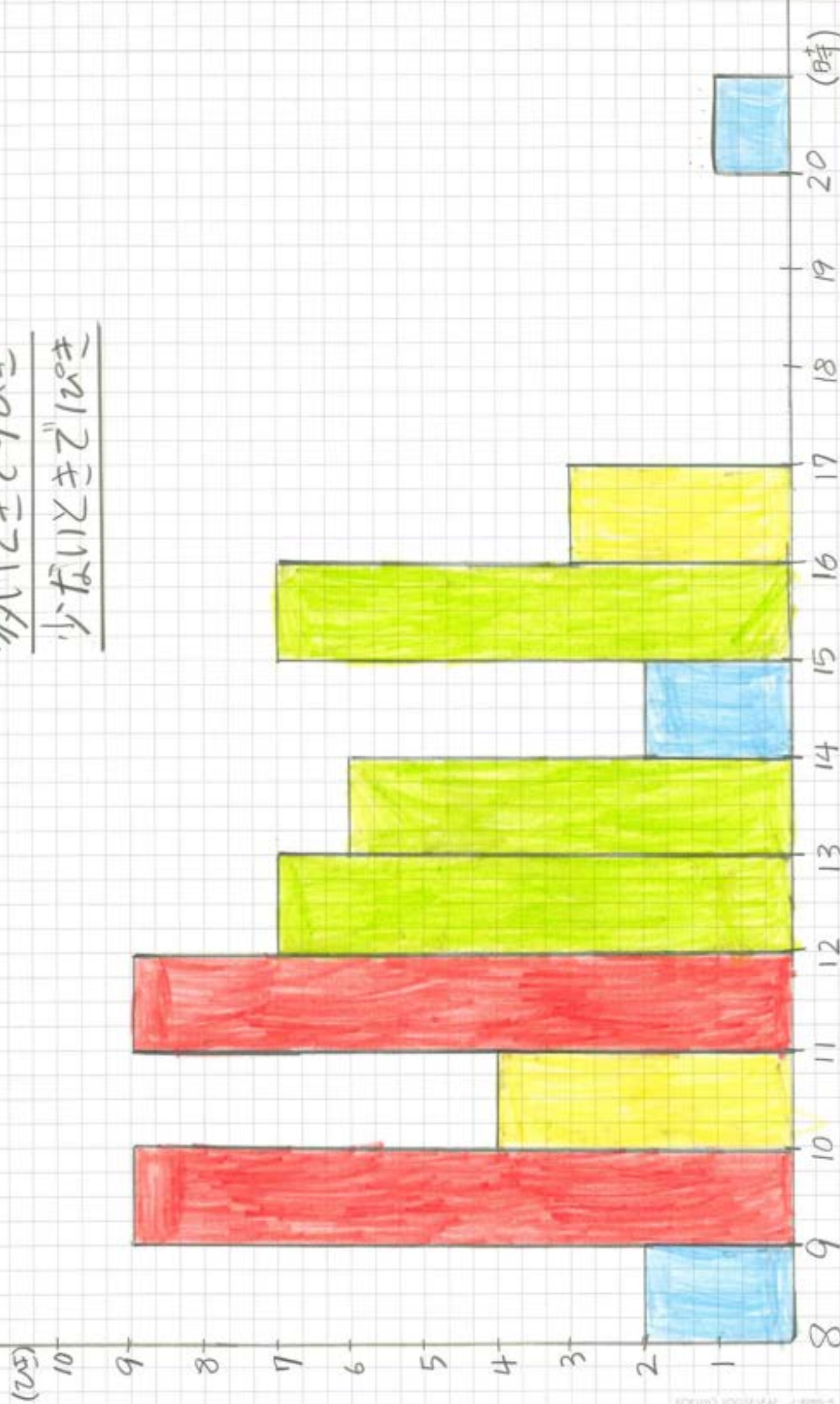
合計54ひき

生まれた時間と幼虫の数



1時間ごとに生まれたかお虫の数

多いときより多い
少ないときより少ない



ふ化を観察して分かった事

8時14分 2ひき卵をやぶった



4分45秒後

2ひき虫かごをはい回る。

☆お父さんコオロシの様子

生まれる日は、水草の上にじっとしている。



ふ化の間は、じっとしている。

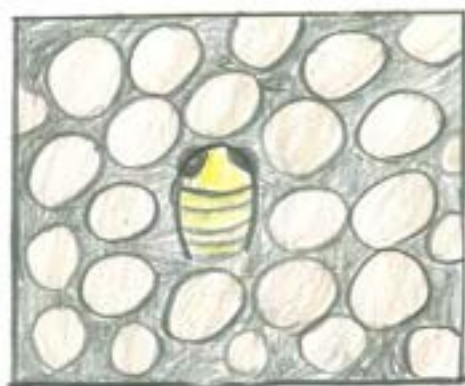


ふ化が進み幼虫の体が半分以上卵からでて、
幼虫が前足を動かして卵から出ようとする
と成虫が水にもぐる。



水の中で幼虫が泳ぎ出すのを待つ。

卵から出てくる幼虫の様子



すこし出てきた。
体が糸細長い。



前足ではんざいして
いるように見える。



前足ではげしく動か
して卵から出ようと
する。



(成虫が水の中に
もぐり幼虫が出るの
を手助けする。)
幼虫は体を出したら
すぐ泳ぐ。



自由に泳ぎ回る。

ふ化した幼虫の色のへん化



生まれたばかり



生まれて3秒後



すこし黒色になった(20分後)



さっきより黒くなった(30分後)



だいぶ黒くなった。

色のへん化のまとめ

生まれたばかりは黄色のようなきみどりのような色をしている
 だんだんこい茶色になっていく。



呼吸管で呼吸しているときおなかがおは半分銀色をしている。



2時間後の幼虫
 (とても黒っぽくなった。こげ茶色) 13

ア、化を観察して分かった事2

☆十秒くらいで幼虫は、空気をすいに水面にくる。

☆幼虫は、成虫よりかまが長い。
(足も長い)

☆2~4匹のうち1匹がかまや足を動かすと成虫がかんじて水にもぐり1匹が出るこのりの幼虫もがんばってはい出す。
全部の幼虫が出るまで成虫は、まてあげる。



☆幼虫は、生まれてくる
とき成虫のおしりのほう
を向いて出てくる。



成虫のせなかのどこに
么虫がいるか理解して
いる。

しん動や音、かるさ
で理解していると思う。

※本物です。

么虫の
たっぴがら

かんそうさせでから、
はりつけました。

る、化後の
卵

おおりに

初めてふ化を見て卵の多さにびっくりしました。メスは匹で生んでいるのが、数匹で生むのかきもんに思いました。

卵をどうやってオスの背中にくっつけているのかふしぎに思いました。

またコオイムシの幼虫が生まれてすぐ泳げることがすごいと思いました。

幼虫がせまい卵に入っていることにもおどろきました。

ちがう生き物も観察したいです。